令和6年5月1日発行

社会福祉法人 恩賜財団済生会 支部岡山県済生会

福祉施設広報誌

木もれ陽

No.92
2024.春号

みなみがた荘のみなさんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光
木立の中の生命を育てる光
それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である
「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」
「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

社会におけるポジション

1．あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

事業経営の将来像

2．済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

組織の人のあり方

3．適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目次

●ライフケアセンター……p２～９
●憩いの丘……p10～11
●備中荘……p12～13
●宇垣荘……p14～15
●玉松園……p16～17
●和みの郷かなや……p18～19
●新人紹介……p20～21
●里山の生き物in岡山……p22

ライフケアセンター

新採用職員教育研修会

4月2日

４月２日：支部福祉施設内の新採用職員を対象とした教育研修会を開催しました。済生会福祉施設の概要・基本理念・基本方針・コンプライアンスといった基本内容から接遇・感染予防・防火防災等、様々な内容を研修しました。研修で学んだ事を日々の業務に活かし、済生会福祉施設の職員として誇りをもって活躍して頂ければと思います。

岡山混声合唱団

4月25日

４月25日：当センター内やすらぎホールにて、岡山混声合唱団による「ふれあいコンサート」が開催されました。昭和21年創立のNHK岡山放送合唱団を母体として発足された歴史と伝統を誇る合唱団々員の皆さんに、ピアノ伴奏による９曲を披露して頂きました。

参加した利用者の皆さんと職員は「チムチムチェリー」や「蘇州夜曲」などの懐かしい歌に耳を傾け、時折口ずさみ、中には音楽の心得があるのか指揮者の所作を真似る方もおられ、曲が終わるごとに大きな拍手が起きていました。短い時間ではありましたが、素敵な歌声を聴くことができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

やよいの里

軽費老人ホーム（混合型特定施設）

節分豆まき　～初老初老（そろそろ）世代交代？～

２月１日、毎年恒例の節分豆まきを開催しました。

元・陸上競技部でほぼ五十爺ぃーの二人が〝鬼〟の大役を任されました。

入居者様から邪気を祓い福を招き入れるため一役買うことが出来たでしょうか…

仮面ライダーになったつもりでカラ元気を出し、フレッシュに動き回ったつもりです。

２日後、筋肉痛になった自分を褒めてあげたいです。（笑）

現在、当里は入居者様の約46%が90歳超えです。この数字は、人生100年時代というのを物語っていると思います。そう考えると、50歳の半世紀なんて折り返し地点に過ぎません。人生を振り返る反省期にしたいです。

豆まきに参加して、「まだまだやれる」という気持ちが沸き上がって来ました。これからも、汗かき、べそかき、恥をかき、あぐらをかき、仕事を頑張りたいです。おっと、あぐらはかいたらいけません！（笑）

生活相談員　野上　雄介

ガラポン

やよいの里では７階食堂に集まって食事をします。そのため４か月に一度席替えを行っていますが、「なんか楽しく出来ないかなー」と思いまして、手作りの〝ガラポン〟クジを準備してイベントにしてしまいました。

３月12日午後２時、食堂に集合です。じゃんけんで順番を決め、ガラポンからボールが出るまでグルグル回して次々に席が決まります。くじを引いた方から手作りのおぜんざいを振舞い、楽しくドキドキの時間を過ごしました。

介護職員　山下　のり子

祝・百歳

～ 安田様とやよいの仲間たち ～

４月20日、ケアハウスの〝最古参〟である安田秀雄様がめでたく百歳をお迎えになられました。

安田様は平成10年４月１日から入居されております。今でも軽く料理をされたり、自転車に乗られたり、畳を張り替えたりと、まだまだお元気！

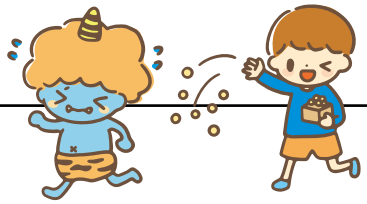
このたび、やよいの里の男性陣にお集まりいただき、記念にパチリ。見て下さい。この男結力（団結力）！

これからもよろしくお願いします。

介護職員　吉木　誠

ライフケアセンター

なごみ苑　有料老人ホーム（混合型特定施設）



《節分》

２月１日に毎年恒例の節分の豆まきをおこないました。担当職員より節分についての説明が終わると鬼が登場。「鬼は外！福は内！」の掛け声と共に勢いよく豆を投げます。しばらくすると「あの鬼は誰？」「○○さんじゃない？」との声が聞かれ、正体を知ってからは優しく豆を投げられていました。皆様が無病息災で健やかに１年を過ごせるよう、しっかり邪気払いが出来ました。豆まきの後はかわいい節分ケーキを美味しくいただきました。

《ひな祭りお茶会》

3月5日、ひな祭りのお茶会にて桜あんの上用饅頭と抹茶を頂きました。お饅頭の上に飾ってある桜の花びらとピンクの餡がとてもかわいらしかったです。「美味しい」という声が多数あり、お抹茶の二服目を頂きながら「お菓子のお代わりはないの？」の言葉に笑いが起こりました。女性同士楽しく談笑され和やかな会となりました。最後に、カラオケで「ひな祭り」の歌付きを流したのですが、皆さん一緒に口ずさみ懐かしんでくださっていました。私自身も久しぶりに最後まで歌を聴き、こんな曲だったんだなあと感慨深かったです。

《作品作り》

レクリエーションの時間に春のお花を作りました。その風景を紹介します。

《散歩》

３月末から急に温かくなり、桜も一気に開花した為、４月２日、４日にお花見を兼ねた敷地内散歩を実施しました。２日は11名、４日は５名の入居者の方が参加されました。満開の桜を見ながらゆったりとした時間をすごされていました。散歩の後にはちょっとしたお茶会を開催。参加された方からは「うわぁ、満開じゃが！綺麗やなぁ」、「桜が見られて良かった」、「美味しいお菓子までいただいて申し訳ないです。」といった声が聞かれ、とても喜んでいただけたように思います。

介護職員　田渕　美也子　　生活相談員　入江　浩嗣

みなみがた荘　特別養護老人ホーム

新入り雛人形のお目見え

雛人形は子供をけがや病気から守り、将来幸せな家庭を築けるようにという両親の祈りを込めて飾られるものとされ、一人前の女性に成長したら込められた願いは満願となり、雛人形は役目を終えるといいます。私も我が子の健やかな成長を願い飾ってきました。

平安時代を思わせるつややかな十二単の女雛、束帯姿の男雛や小道具や箪笥で遊んで楽しんでいた娘を思い出します。その娘は、今や母親となり毎日子育てに勤しんでいます。そして見守ってくれた雛人形はこの度みなみがた荘へお嫁入しました。年一度のお目見えでしたが見守ってくれたお雛に感謝し新たな場所（みなみがた荘）で皆様を見守り、かわいがっていただければと思います。

看護職員　柏野　美保子

～お食事会～

桜が散り始め過ぎゆく春を感じますが、皆様は桜を見ましたか？今年もとても綺麗に咲いていました。まだ春ですが初夏の気配が漂うようになりました。

みなみがた荘では４月23日のお昼に松花堂弁当が出るということなのでお食事会を開催いたしました!!!

５階６階の方々が集まって皆様で楽しく松花堂弁当を召し上がられていました。皆様に感想をお聞きすると「いつもと違って豪華！」「とても美味しい！最高！」など喜ばれる声が多数ありました。食べ進めて行くうちに「もう、お腹いっぱい」「お腹が溢れる」「食べたいけど入らない」などいつもより量が多かったみたいですが、皆様笑顔で大満足の様子でした。やはり食事は笑顔で楽しく頂くのが一番良いですね！見ているこちらまで笑顔になれました！

皆様、季節の変わり目になってきており昼と夜とで寒暖差があるかと思いますが、体調不良にはくれぐれもお気をつけ下さい。脱水予防のためにもこまめに水分補給をしっかりとして対策して下さい。

介護職員　川間　脩平

なでしこ苑　介護老人保健施設

２月３日に節分の豆まきを行いました。

今年も鬼のパンツと、かつらをかぶり２年連続で鬼になりました。

音楽がかかると鬼の登場！新聞紙を丸めて豆にみたてた物が用意されており豆まきが始まると利用者の方々は、最初は緊張して遠慮されていましたが慣れてくると、楽しそうに思いっきり投げて来られます。

外出もできない中、少しでも楽しんでもらえればと思い鬼になって暴れると、利用者の方々からの笑顔が見られて大変良かったです。

介護職員　洲脇　仁泰

たちばな苑　介護老人保健施設（ユニット型）

〈2F〉《余暇時間の楽しみ》

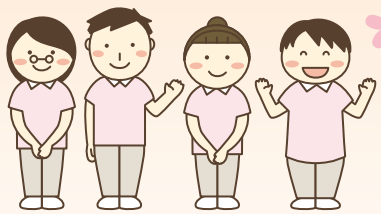
すっかり春めいてまいりました。たちばな苑の利用者様も窓際の談話スペースで「ここ特等席ね。」「一緒に座ってお花見しましょう。」と満開の桜を楽しまれていました。まだ外出することは出来ず室内で過ごされていますが、今２階の利用者様の間では脳トレがブームになっています。クロスワードや漢字クイズ、間違い探しなど様々な問題にチャレンジされています。空いた時間に「夢中になって時間が早く過ぎる。」と真剣な表情で取り組まれています。

脳トレなどで脳を刺激すると脳内の血流がアップし認知機能の低下予防が期待出来るそうです。時には「あと一つが見つからん、気になって仕方ない。教えて。」と職員に助けを求められ職員も一緒に考えています。利用者様同士で相談、助け合われることもあり他者との会話、交流のきっかけにもなっているようです。

季節の変わり目に伴い体調の変化に注意しながら、今後も利用者様に楽しんで過ごしていただけるよう心掛けていきます。

介護職員　小川　治美

〈3F〉《春から新緑の季節へ》



皆様こんにちは！漸く岡山にも春が到来。３月30日には後楽園の標本木の桜が開花し、４月５日には満開となりました。窓外の桜を眺めながら利用者の皆様も少し笑顔がほころんでいたように思います。

そうした中、たちばな苑３階では、４月10日に誕生日会を開催しました。４月生まれの主役、Ａさんは、大正14年生まれの99歳。車イスを使用していますが、ご自分で食事も排泄もできます。空いた時間には、おしぼりや清拭タオル作りなどの軽作業をこなし、元気に過ごされています。Ａさんの紹介の後、全員でハッピーバースデーの歌を歌い誕生日プレゼントの贈呈、その後カラオケで“リンゴの唄”や“憧れのハワイ航路”など５曲を歌いました。中には声の出ない方もいますが、皆それぞれ手を叩いたり調子をとったりしながら、和やかな時間を過ごしました。

介護老人保健施設であるたちばな苑は、病院と自宅の中間施設として、利用者様の在宅復帰を支援する施設です。この３月、４月は、入退所される方が多く、つい先日も自宅に戻られる利用者様を職員で見送りました。施設での食事、排泄、入浴、リハビリ等を通して、利用者様一人一人の頑張ろうとする意志を感じます。医師、看護師、リハビリ職員、介護職員が共に一緒になって利用者様を支援していきます。それがたとえ短い期間であっても、一緒に過ごした時間を思うと少し寂しさも感じますが、元気に自宅へ、ご家族の下へ帰られる姿を笑顔で送り出しています。どうぞ元気で毎日をお過ごしください。

介護職員　影山　恵也

〈4F〉《３月ひな祭り・４月お茶会》

たちばな苑の4階、リハビリ室の前では７段飾りのお雛様を毎年飾っています。他の階の人でもリハビリ室に来ればお雛様を楽しめるようにしています。「懐かしいねぇ」「綺麗ねぇ」と、見られた方々が褒めて下さいました。

３月の誕生日会はお雛様の前で開催し、誕生日の方のお祝いをしたり、「嬉しい雛祭り」の歌を歌ったりしました。今回最大のお楽しみはお雛様の前でお雛様やお内裏様に扮した顔出しパネルで行った写真撮影大会です。にこやかに写真に写られる方や、恥ずかしそうに笑いながら写られる方等、皆様で楽しみながらの会になりました。

４月は桜の花が咲く頃にお茶会を行いました。職員手作りの水ようかんにお抹茶を点てて、ゆっくりとした雰囲気でした。また、楽しい会が行えるよう職員一同頑張っていきたいです。

介護職員　川﨑　由美

ライフケアセンター

デイケアセンター　通所リハビリ

Let‘s　cooking!!

デイケアではリハビリだけではなく、お腹も満足していただける（！？）ような活動を計画しています。今回は、土曜日の振替営業のゆったりとした時間を利用して、普段できないクッキングを、楽しんでいただきました。いつもは料理などする機会がないであろう旦那様方は、立ち上がって一所懸命にハッスルされていました。「これを妻に食べさせるからこれを取っておいて！」と嬉しそうに言っております。奥様方は手慣れたもので、若い女性職員に的確な指示を出していただきました。そして、私自身は・・・・皆様が作って下さった『たこ焼き、明石焼き』・『クレープ』を沢山いただいて最高の振替土曜日でした。！(^^)！

これからも、土曜日の振替営業は、普段できない活動を考えていきますので、ご利用者様はどんどん利用してくださいね。もしかしたら、お得かもしれないですよ。

豆まき

毎年恒例の職員が鬼に扮して豆まきをしました。

「鬼（職員）に豆なんか投げれないわぁ～」

と、言われていた方・・・・。いつの間にか**本気**の**顔**で投げられていましたね。（笑）

いいストレス解消になったのではないでしょうか。（笑笑）

もしかしたら・・・

いや！！きっとリハビリに

役立っているはずです。

ドッグセラピー

以前からちょこちょこ遊びに来てくれている「サンちゃん」が、デイケアにも来てくれました。利用者様からの熱烈な要望を受けて来てくれました。

ドッグセラピーの力は絶大ですね。普段ほとんど声を発しない利用者様が「おい！！」と声を発して抱っこをしている姿をみると、動物の潜在能力を感じました。

ちなみに、「サンちゃん」はすごくおとなしく賢い子です。吠える事なんて全くありません。でも、私が近づいたら後ずさりしてペタンとしゃがみ込んでしまいます。（涙涙涙）

支援相談員　末次　博文

デイサービスセンター　通所介護

お楽しみ会をしました

美味しいものを食べると自然と笑顔になれる気がします。

もっと、皆様に笑顔になってもらいたいと思い、お楽しみ会を企画しました。

さあ、クイズです（^^♪何を作っているでしょうか？

ヒントたこ焼きではありません！！

正解は！！ベビーカステラです♬

昔々アルバイトでたこ焼きを焼いていた経験のある職員を筆頭に利用者様と一緒に手際良く、可愛いベビーカステラがどんどん焼きあがっていきました。生地の中にココアを混ぜたり、中身に板チョコを入れたり美味しくなるよう工夫しました。

和気あいあいと楽しく焼いていたらあっという間に出来上がりお茶の時間となりました♪

気になるお味は？「美味しいよー」「美味しいねー」「楽しいなー」と嬉しい感想を頂きました。

その日デイサービスのフロアーは、甘い香りがいっぱいただよい、笑顔もいっぱい（*^▽^*）幸せいっぱい（*^_^*）の午後のひと時となりました。

節分豆まき大会!!

♬鬼のパンツは破れない～強いぞ～強いぞ～♪と軽快な音楽と共に、全く怖くない、愉快な鬼がデイサービスに二体突然やってきましたぁ！！

皆さま思い思いに、手作りの豆を鬼に「鬼は～外、福は～内」と笑いながら思いっきりぶつけておられました。

大笑いの中一年の無病息災を願いながら、皆様に楽しんで頂けて良かったです。

花満開

世の中が桜開花の前、デイサービスでは一足早く桜が満開になりました。

職員力作の木に「ここに貼ってみようか？」「綺麗じゃな～」と利用者様と一緒に作った花びらを貼っていきました。デイサービスのフロアーの中がいっきに華やかになりました♪

今はもう世の中の桜は、残念ながら儚く散ってしまいましたが、デイサービスの桜はまだ散らずに咲き誇っています。

介護職員　宮田　信子

憩いの丘

デイサービスセンター

土砂災害避難訓練

令和6年 3/18(土) 13:15～

13:15　一斉放送が入る
岡山市北区に土砂災害避難準備情報発令
山側斜面が危険

あわてず、落ち着いてと声を掛け合い避難開始！！
職員は非常持ち出しリュックを忘れず装備しました。

エレベーターは、歩ける方が7～8人程度乗れます。
1回目が早く2階へ上がれて2回目のエレベーターには、車椅子の方（普段は歩行するが、体調により）に3人乗っていただき一人は自操をお願いし、両手の具合が悪い方2名は介助しました。

避難場所は2階の施設駐車場“藤の棚”そこまで歩行しなければなりません！
自信がない方には、迷わず「歩けん！」と言う勇気をお願いしました。
エレベーターが使用出来る設定だったので比較的スムーズに7分53秒で避難が完了しました。

利用者の感想も様々です。

◆「勉強になりました。足の訓練頑張ります」「歩くのがしんどい」
◆「頑張って避難できそうだった」
◆「訓練だから大丈夫と思ったけど、実際におきたらと思うと、動けたかどうか」
◆「ちょっとしんどかった（避難が）」
◆「本当のところ、どうなるか分からんなー思うた。私は行けると思ったけど（避難場所まで）息が上がって、、車を持ってきてくれて良かった（車椅子）
◆「本当だったら慌てる」
◆「エレベーターが止まったら（坂を）はって上がらんといけん」
◆「何も感じんかった（揺れや異変）何もない中で何をしょんじゃろかー思うた」
◆「別に何もない。楽しかった」
◆「本当にありがとうございました」
★今回の避難訓練で利用者の方が“機能訓練の大切さ”を実感し、今後も取り組んでいかないといけないと感じていただけた事は非常に大きな意味があったと感じています。

「来る」と想定して行動するから出来るのであり何回も繰り返し行っていても現実になると慌ててパニックになりました。
避難先に指定されている場所の手前、施設の玄関まわりも人で密集し、思う行動がとれなくなります。
持ち出し袋や食品類等、今後完備しておく必要があり、時候にもよりますが、各々がどれくらい続くか分からない避難に耐え得るだけの装備の必要性を感じました。

避難先に着くと、安心してしまい直ぐに次の気配り、目配りを忘れてしまっていました。
寒くないか？ケガはないか？体調に変わりはないか？利用者の家族への連絡、災害の現状把握など避難先でするべきことが沢山あります。
しっかり事前準備を行い備えていく事が私達に出来る唯一の助かる道と考え、横繋がりや縦繋がりでの声掛けも大切だと実感しました。

記憶に新しい”能登半島地震”いつ災害が起こるか分からない日々で生活しています。
私達に出来る事は”災害避難訓練”を繰り返し行う事です。
今後繰り返し訓練を行い、利用者と職員が一丸となり無事に全員避難出来る事を意識し、いつでも避難出来る状況を整えておきたいと思います。

デイサービス　管理者　吉岡弘子

特別養護老人ホーム

春の行事　コスモスの家

4/4(木)

例年より遅い桜の開花宣言がされました。４月４日（木）の昼食は、「お花見御膳」。春の暖かい陽射しのもとで、咲き始めた桜を背景にお花見御膳を頂こうと企画しましたが、諸事情により急遽屋内での開催となりました。少しでも桜の花を感じて頂けるようにと花器に桜の木を飾り、春の暖かい雰囲気を作りました。

お花見御膳を目の前にした利用者様は「今日は豪華だね。お花見弁当かな。」と喜ばれていました。いつも食事を残されるある利用者様は「大好きなアラスカご飯だから残さないよ。」と言われて完食され、皆さんお花見御膳にご満足の様子でした。

満開の桜になり、天気予報は明日から下り坂。折角なので満開の桜のもとで皆様に青空のリハビリをしましょうと皆さんに屋外でリハビリを開催しました。

「桜が綺麗。外の空気が気持ちいい。」と屋内でのいつものリハビリとは気分が変わって、リハビリ職員の指導のもと皆さん頑張られました。

新型コロナウイルスは５類になりましたが、利用者様の健康と安全を守る為、まだいろいろな制限があります。その中でも少しでもその時々の季節を感じ、幸せな時間を皆様に過ごして頂けるよう今後も援助させていただきます。

介護職員　劒持　友紀子

備中荘

介護老人保健施設

彩り豊かなご馳走を♡

２月１日（木）の備中荘開設記念に感謝を込めて松花堂弁当をご提供いたしました。いつもと食器が変わるだけでも特別感が出てご馳走感がUPするのでとても喜んでいただけました。

また、４月３日（水）には、お花見弁当をご提供いたしました。当日はあいにくの雨でしたが、「ここにいると食事で季節を感じられるわねぇ。家にいるときはこんなに季節の料理をしてこなかったわぁ。」と言ってくださる方もおられました。

15時おやつには“春色蒸しパン”と銘打ったピンク色の可愛い蒸しパンをお出しし、これでもか🌸と春の演出をしました。蒸しパンに食紅で色をつけ、中にはうぐいす豆をつぶした餡を入れています。

管理栄養士　谷口　直美

備中荘桜でお花見会

今年は３月に入っても肌寒い日が多く、なかなか桜の開花の便りも待ち遠しい日がしばらく続きました。４月に入りようやく備中荘の桜も満開になり、晴天の下、お花見会を行いました。少し風が強く、日陰は肌寒く感じることもありましたが、入所者様皆様が、満開の桜に「まあー、きれい」「満開じゃなあ」と感嘆の声を上げられました。中には「さくら」の童謡を歌ったり、久しぶりの外の空気に深呼吸をされている方もおられ、それぞれにお花見会を楽しんでおられました。

介護職員　長尾　順子

デイケアセンターもコロナ明け

備中荘デイケアセンターでは、４月より以前使用していたフロアーに場所を戻し、ご利用を開始しました。床はワックスをかけ、コロナ時に飛沫感染防止として設置していた仕切りは取り払いました。テーブルも解放的に使用し、見晴らしの良い窓から季節の花や風景を見ながら体操や自主トレーニングなど行っています。中止していたカラオケも再開し、利用者様のお顔も晴れ晴れとしているように感じます（笑）。

利用者様皆さんが気持ちよく利用していただけるよう、楽しく清々しい空間作りを心がけています。

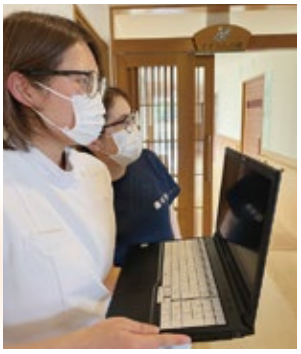
利用者様が可能な限り自宅で自立した日常生活を送れるようにデイケア職員として支援していきたいと思っております。

介護職員　遠藤　直美

介護老人保健施設

備中荘広報委員（備中Reporters）爆誕!!

この度、備中荘では広報委員「備中Reporters」を結成しました！ホームページやSNS等を通して、備中荘のイベントや日常を配信していく予定です。ぜひフォローをよろしく（｀・∀・´）ノお願いいたしまっす！（アカウント名入れたい）←爆誕しすぎて垢取得①が木もれ陽の締め切りまでに間に合わず（；∀；）…次回「インスタ②はじめました」の記事を乞うご期待ｖｖ



①**垢取得**：アカウント名取得の意味。アカウントとは、スマホやパソコン、インターネット上のサービスを利用する際に必要な権利や、個人認証情報のこと。

②**インスタ**：Instagram（インスタグラム）の略。写真や動画を投稿できるSNS（ソーシャルネットワークサービス）のこと。今どきの若者の間ではFacebookやX（旧Twitter）よりインスタらしい。

備中Reporters

面会制限を緩和しました！

新年度を迎え、長らく制限をしていた入所者様のご家族様等の面会について、大幅に緩和しました。面会可能な時間帯やマスク着用等の制限は残りつつも、基本的には毎日ご面会に来荘していただけることとなりました。ご家族様からも喜びの声をいただいています。

新型コロナウィルスをはじめとした感染症が無くなったわけではないので、標準予防策等の対策はとりつつ、入所者様やご家族様へのサービス向上に向けた取り組みをしていきたいと思います。

事務職員　市川　浩司

岡山済生会総合病院雑誌に症例報告が掲載されました！

この度、“老健施設において言語聴覚士と介護職員の連携による摂食嚥下リハビリテーションが奏功した廃用症候群の摂食嚥下障害の一例”というタイトルで当施設の入所者様の症例報告が、岡山済生会総合病院雑誌にて掲載されました。執筆にあたり関係者の皆さまに大変感謝しております。引き続き、入所者様により良いリハビリテーションを提供できるように日々業務にあたりたいと思います。

言語聴覚士　田山　久志

町内事前溝掃除、草抜きを実施

４月19日（金）と20日（土）に、地域貢献活動の一環として備中荘周辺の溝掃除と施設内や駐車場の草抜きを行いました。今回は、通常勤務日の夕方にも時間を設け、なるべく多くの職員が参加できるよう工夫しました。

暖かくなり草もぐんぐん伸びていて、やりがいのある時間となりました。

これからも地域の皆様との結びつきを大切にしていけるよう、取り組んで行きたいと思います。

事務職員　　市川　浩司

宇垣荘

デイサービスセンター

継続は力なり、クラフトクラブは長生きの秘訣なり

クラフトクラブは、デイサービスで毎月続けて行っている季節の制作活動で、利用者様もご家族の皆様も楽しみにされている人気のクラブ活動です。２月はお雛様、３月は春の花飾り、４月はこいのぼりと季節先取りで作り、作ったものが少しでも長く飾れるように計画しています。みなさん「上手に出来とるからずっと飾っとるよ。」「毎月ひとつずつ増えていくんが楽しゅうて、自分の部屋へずらーっと並べとんよ」とおっしゃってくれます。

春だよ！収穫だよ！次は夏野菜だよ！

冬に蒔いたエンドウの種、ほとんど芽が出ず、なかなか大きくならず心配していましたが、やっと収穫できるようになってきました。やったー！！エンドウの筋取りは、取り合いになる人気の作業です。これから収穫量がどんどん増えてくるはず！楽しみです！

看護職員　江田　知里

小規模多機能型居宅介護事業所

開花予想

寒さもゆるみ日ごとに春めいて花の便りも聞かれる頃となりました。

３月の初めは寒の戻りもあり開花発表も平年より遅くなりました。宇垣荘の桜も少しずつふくらみ「もう咲くかな」心待ちにされていました。

「じゃあみんなでいつ咲くか予想しよう」と声があり、桜の花を折り紙で作り開花日を予想していただきました。結果、開花日は３月30日、平年より２日遅かったようです。予想も楽しみ、満開の桜の前で皆様の笑顔も咲き、思い出深い開花となりました。

季節の移り変わりは早く、特に桜は日本人にとって特別な思いがあるようです。

皆様に季節を楽しんで感じていただける様にこれからも色々な企画を行っていきたいと思います。

介護職員　松浪　たづ子

特別養護老人ホーム

かわせみの日常

２月は節分ということで入居者様に鬼の面を作成してもらい豆まきをしました。「鬼になってください。」と職員にお願いして「鬼は～外～　福は～内～。」と、豆ならぬ新聞紙を丸めた豆を鬼に投げていきました。

４月には宇垣荘の桜も満開に咲いたので散歩へ出掛けました。「満開で綺麗じゃ～。」と満面の笑みでした。

そして今は５月に向けて色々なアイディアを出し合いながら鯉のぼりを製作中です。どんな鯉のぼりになるか楽しみです。

毎日が賑やかで楽しく笑いの絶えない『かわせみ』です。

介護職員　黒川　由紀

玉松園

養護老人ホーム（一般型特定施設）

新年度スタート!

玉松園では、新しく岡本園長を迎え、新たなスタートとなりました。

そして各委員会では、新メンバーで今年度の目標を立て、この１年を全力投球です。

今年度始めの行事として、外出支援でドライブを行いました。

後楽園の桜を見に行ったり、また和気の藤公園の藤を見に行って来ました。車中からは山ツツジやフジ、菜の花や色んな春の花々を見て楽しむ事が出来ました。ただあいにくのお天気だったので、ゆっくり歩いて見ることは出来ませんでしたが、春の雰囲気を感じることが出来て

「気分転換になったね」と喜んで頂きました。

今後もいろいろな行事を企画し、皆さんに楽しく過ごして頂きたいと思っております。

介護職員　八木　祐子

喫茶　お雛祭り会

３月５日、御津はまだ少し寒く、春が待ち遠しい時節。玄関ロビーに七段飾りのお雛様をお飾りして、テーブルの上には園庭のツバキのお花を生けました。

今月一回目の喫茶は、桃まんじゅうと緑茶でお雛祭り会を行いました。

「桃まんじゅうがあったかくて美味しいわ」「桃の形が可愛いわ」「初めて食べるわ」等のお誉めの言葉を頂き、素敵なお雛祭り会の時間を過ごすことができました。

また来月以降も担当がステキな喫茶を計画しますので、楽しみにして下さいね。

介護職員　安藤　好恵

第１回目の喫茶

今年度が始まり、早くも半月が過ぎました。

第１回目の喫茶を４月16日にさせて頂きました。今回はマーラーカオを提供しました。利用者の皆様はどんなものが出るのか何度も訪ねて来られました。

「マーラー」はマレーシア、「カオ」はケーキやカステラを意味するそうです。由来はマレーシアから伝わって来たという説や、黒糖やお醤油の色がマレー人に似ているからなどの諸説もあるそうです。

提供時には、「おいしい、お腹いっぱい」「ごちそうさまぁー」など多くの利用者様より声を頂きました。思ったよりボリュームもあり、大変満足して頂けたと思います。

第２回目の喫茶も喜んで頂けるものを提供しようと思います。

介護職員　木下　悠起子

2月イベント食　解体ショー

２月29日の昼食は冬のお楽しみメニューとしてお刺身と巻き寿司、にぎり寿司、茶碗蒸し、含め煮、赤だしを提供しました。

お刺身やお寿司が食べたいとの要望に日清医療食品さんや各部署の職員さんの協力を得てイベント食という形で実現できました。

解体ショーは、食事の一環として１階と２階の２会場で鰤を捌いていただきました。入所者様からプロの手捌きに「わぁー。すごい！」「速い！！」と歓声があがりました。「ほっぺ落ちそう（ *´ 艸 `）」お刺身のおかわりもされ喜ばれました。「おいしかったよ♪」「またしてんな。ありがとう」との声もかけていただきました。

施設での生活において食事の面から楽しんでいただける行事食を今後も計画していきたいと思います。

管理栄養士　友次　朋恵

玉松園新築移転されて10年が経ちました。

玉松園が元金川病院の跡地に新築移転されて10年が経ちました。

敷地内には病院時代に植樹された桜の木があり、当時もそうだったでしょうが今年も満開の花で入居されている方々の目を楽しませてくれました。

お花見を通じて季節を感じる事はとても大事です。心も和み、高齢者にとっては生きる希望にさえなりえます。また、自然と笑顔になり会話も弾み、良いコミュニケーションツールにもなっていると感じます。

そんな当園にとって無くてはならない桜の木ですが、実は今年初め、隣家に枝が張り出しすぎ太い枝を伐採したため開花が気がかりでしたが…いらぬ心配でしたね、ホッとしました。

副係長　坪本　恭平

和みの郷かなや

養護老人ホーム(一般型特定施設)

節　分

２月７日：食堂にて豆まきを行いました。今年、年女を迎えた３名の方々がそれぞれに抱負を言われた後、青おに・黄おに👹の夫婦に扮した鬼が「ガォ～・ガォ～」と金棒を手に大きな声で現れ、そのいで立ちに入所者の皆さんもビックリ‼したと同時に大きな笑い声😂。

「福は内～福は内～」と言いながら、逃げまくったり、倒れたりする鬼たちに目掛けて豆（新聞紙丸めた物）を、取っては投げ・投げては取ってを繰り返し、一生懸命にまいていました。

最後に「鬼のダンス♪」の曲に合わせて面白おかしく鬼たちが踊ると、涙を流しながら、「ゲラゲラ」とお腹を抱えて大笑い、楽しい節分行事のひと時を楽しみました。

介護職員　金田　由子

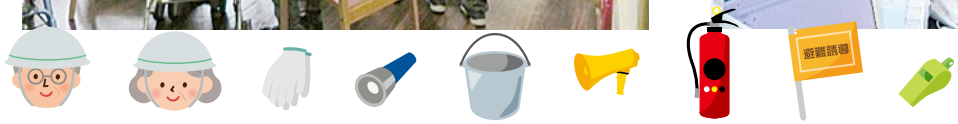
わたし　きれいでしょ💛

３月７日：今年のひな祭りは、お雛様とお内裏様がひなまつりの曲に合わせて入場し、入所者の皆さんに甘酒をお酌して周りました。会場からは「お雛様きれいじゃなぁ～」の声や「夢に出てくるぅ～」と声と共に苦笑い😅される方も。久しぶりの甘酒に「おいしいでぇ～」との声も聞こえるなか、甘酒やおやつをおいしくいただきました。その後の余興で法被姿で桃の花を手に職員が『うれしいひなまつり♫』の曲に合わせた踊りを披露、 皆さんも一緒に踊って、今年度最後の行事も楽しく終わることができました。

介護職員　山本　菜央

昼間想定の避難訓練

３月11日：「東日本大震災の日」に消防避難訓練を実施しました。今回は火災報知器が作動後に現場に急行するのではなく、厨房からの初期消火失敗の報告を受けてからの避難誘導を行いました。利用者の皆さんも避難誘導指示の放送を聞き、慌てることなくスムーズに避難することが出来ていました。これからも定期的に夜間・昼間・休日等を想定した訓練を実施し、災害時の迅速な行動がとれるように、また入所者の皆さんが安心して避難できるよう、今回の訓練を思い返し今後につなげていけたらと思います。



計画作成担当　古屋　純子

令和６年３月31日をもって事業（指定管理）を終了します

新見市養護老人ホーム和みの郷かなやは、平成26年４月１日から支部岡山県済生会が、新見市の指定管理者として事業を運営してきました。

このたび、10年間の指定期間満了に伴い、済生会による事業の運営は終了して、令和６年４月からは新見市の直営として運営されることになりました。私は、令和３年７月から赴任してきましたので、２年９ヶ月の間お世話になりました。

新見市は、北は中国山地を背に美しい自然に恵まれた備作山地県立自然公園に指定され、南は石灰岩と水が創り出す変化に富んだ観光資源が豊富で高梁川上流県立自然公園に指定されています。

景観はとても素晴らしいところなのですが、地理的に岡山市内の拠点から80数キロ離れており支部内の他施設以上に専門職人材の確保が非常に困難なこともあり、今後の指定管理の継続に責任が取れないという事情のため、止む無く事業の廃止となりました。

これが最後の寄稿となります。今まで、大変お世話になりました。

施設長　岡本　忠志

新しい仲間たち

なごみ苑

介護職員　百田　知里

①この度、４月からなごみ苑で勤務させて頂いております。新しい環境になりますが、入居者様との関わりを大切にし、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

②猫が大好きで、毎日猫に癒されています。

みなみがた荘

看護職員　道仙　道子

①長き人生を送ってこられた方々が、何らかの障害を抱え入所されています。これから先このみなみがた荘で、一人ひとりが生き抜いていく暮らしを、微力ながらお支えしていきたいと考えています。よろしくお願い致します。

②嵐ファンから、なにわ男子に切り替えて応援している浮き者です。

みなみがた荘

介護職員　岡本　かな子

①４月よりみなみがた荘に入職しました。一日でも早く業務を覚えて、ご利用者様が楽しく安心して生活が送れるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

②趣味は、ドライブ・食べ歩きです。

みなみがた荘

労務員　福田　裕美

①私は身体障碍者です。色々な場面で周りの方々から助けて頂くことが多い人間です。幸い、この度洗濯室の雇用という機会に恵まれ、社会との接点をいただいた様な喜びです。一日も早く職場に馴れ親しんで働くよう努力致します。よろしくお願いいたします。

②書道、手芸、ゴルフ…全て出来なくなりました。今は動画配信サービスで映画や海外ドラマの鑑賞でしょうか。広島カープのファンで、マツダスタジアムに観戦に行き大声を出すのも好きです。

なでしこ苑

作業療法士　下田　志ほ

①４月10日より岡山済生会総合病院から介護老人保健施設なでしこ苑に異動となりました。人の名前を覚えるのが苦手ではありますが早く利用者様やスタッフの皆様の顔と名前を憶えて、お役に立てるよう頑張っていきたいと思います。

②好きなことは、散歩・園芸（始めたところ）です。バラの花を上手に咲かせる方法を知っている方は教えてください。

なでしこ苑

運転手　谷山　昭彦

①前の職場を３月で定年退職し、４月から運転手として勤務させて頂いております。同乗の職員の方、また施設利用者様に安全に安心して乗車していただけますよう努力してまいります。

②好きな音楽は、年に似合わずドリカムの歌が好きです。

たちばな苑

介護職員　武川　聖司

①２月から、たちばな苑に入職しました。利用者の方々が安心して過ごせるよう、丁寧に対応させていただきます。宜しくお願い致します。

②休みの日には、ドライブを兼ねて子供と色々公園に出かけています。

たちばな苑

看護職員　塚本　優奈

①５月よりたちばな苑で勤務しております。ブランクがありますが、再度看護を学び直し、頑張って行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

②趣味は、季節を感じられる場所に出かけることです。

たちばな苑

事務員　宮﨑　真希

①２月より岡山済生会ライフケアセンターの総務課に異動となりました。済生会での勤務は20年以上となりますが、福祉施設での勤務は初めてなので、利用者様やそのご家族に寄り添いながら業務を行っていきたいと思います。

②最近は文具にはまっていて、可愛いマスキングテープやメモ用紙が売られているとついつい買ってしまいます。

たちばな苑

労務員　紀井　浩江

①４月より労務員として勤務させて頂いております。早く仕事を覚えて先輩のように仕事ができるようになりたいと思います。よろしくお願いいたします。

②花の写真を撮り、インスタに載せるのが楽しみです。時々お菓子作りをします。

憩いの丘

介護職員　岡本　哲寛

①デイサービス３年、有料老人ホームに10年勤めました。皆様の足を引っ張らないよう頑張って参ります。

②趣味は観光と旅行です。特技は特にありません。歌はＱｕｅｅｎとＭｉｃｈａｅｌＪａｃｋｓｏｎを聴いています。

憩いの丘

理学療法士　石岡　陽夫

①今年度よりお世話になります、機能訓練指導員の石岡陽夫と申します。以前は、済生会吉備病院で５年間理学療法士として勤務していました。分からないことばかりですが、頑張ります。よろしくお願いいたします。

②趣味は、スポーツや音楽、麻雀が好きです。休日は、旅行やご飯を友達と行くことが多いです。お勧めのご飯屋さんがありましたら、教えてください。

我々の仲間入りしました。

①抱負、自己紹介等
②趣味・特技・好きな言葉、音楽…

憩いの丘

介護職員　田中　直子

①この度、憩いの丘のコスモスの家に配属となりました田中直子です。ご迷惑をおかけしないよう、早く業務に慣れご利用者の方が安心できる支援が提供できるよう、頑張ります。よろしくお願いいたします。
②最近は読めていませんが、読書が好きです。K−POPも好きです。

憩いの丘

運転手　川﨑　克己

①４月より、足守地区生活バスの運転手として勤務させていただくことになりました。火・金曜日の千升線と、木曜日の山上線を担当させていただきます。安全運転を第一に、足守地区に少しでも貢献できる様に頑張ります。
②趣味：旅行、スポーツ観戦、野菜作り
好きな言葉：ドンマイドンマイ僕は好きだよ！

備中荘

作業療法士　秋山　雅幸

①済生会吉備病院５年、岡山済生会総合病院、外来センター病院で合計10年勤務していました。福祉領域は初めてなので、施設における作業療法士の役割や働き方、介護スキル等、たくさん学ばせていただきたいです。利用者さんが安心できる「家」を提供できるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
②趣味：遊びに行くことが大好きです。飲み会に行くのも好きです。

備中荘

介護職員　佐藤　綾香

①４月より備中荘で働かせていただいています。分からないことが多くありますが、先輩の皆さんのご指導の下で１つでも多くのことを学び吸収して、そして入所者様に寄り添った支援とは何かを常に考えて行動していきたいと思います。よろしくお願いいたします。
②趣味：カフェ巡りや動物の動画を観ることが好きです。

宇垣荘

介護職員　沖　美千子

①４月から宇垣荘で勤務させて頂いています。早く仕事に慣れるよう日々学んでいきたいと思います。宜しくお願いします。
②好きな言葉は、雲外蒼天です。努力し続けることは良いことだと思うので頑張ります。趣味は名曲喫茶巡りです。

宇垣荘

介護職員　平田　敬子

①今年度より玉松園から宇垣荘に異動となりました。特養は初めてとなりますが職員さん、ご利用者様に優しく指導してもらいながら頑張っています。一日も早く業務に慣れ戦力になっていけるよう努めていきます。「笑顔がいいね」と言ってもらえるような職員を目指して頑張ります。よろしくお願いします。
②趣味：愛犬との散歩、特技：ゴルフ、好きな言葉：一日一笑。
音楽：君に捧げる応援歌（ヒッピー）、好きな人：ムツゴロウさん

玉松園

施設長　岡本　忠志

①「和みの郷かなや」の事業終了に伴い、本年度より玉松園に異動となりました。当施設の理念を常に心がけ、他施設との連携並びに地域に貢献する施設として努めてまいります。

②趣味：映画、読書

玉松園

介護職員・支援員　北山　幸香

①２月から勤務していますが、自分なりに頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

②趣味：絵画、料理、カラオケ、園芸
好きな言葉：夢、希望

玉松園

看護職員　戸田　憲子

①４月より玉松園で勤務させていただいております。細く、長く、ゆっくりと長い期間お世話になりたいと思っております。明るく笑顔で仕事ができますようよろしくお願いします。

②趣味：野球、サッカー等スポーツ観戦が大好きです。

里山の生き物 in 岡山 シリーズ No.26

「モズ」(和名：百舌鳥)(英名：Bull-headed shrike)

我家の庭先に咲く"蠟梅"の枝先で見つけた**「モズのはやにえ（早贄）」**についてのお話です。モズは一見するとスズメのように可愛らしい小鳥ですが、実は肉食性です。秋頃には長い尾っぽを振りつつ鋭い声で「高鳴き」をする他、皆さんも目にした事があるかと思いますが「はやにえ」と呼ばれる、獲物を木の枝などに突き刺す・挟むといった不思議な行動で知られているなど、古くから日本で親しまれてきた身近な鳥です。名前の由来は、メジロ・ホオジロなどの鳥の鳴きまねする習性があり、多様な声でさえずることから「百の舌を持った鳥」と書かれるようになったと考えられています。

R6.2 自宅

高鳴き

秋から11月頃にかけて「高鳴き」と呼ばれる激しい鳴き声「キィーキィー」「キチキチ」を出して縄張り争いをする。縄張りを確保したモズは、冬になるとたった１羽で冬を過ごすことになります。孤独ですね！

はやにえ（早贄）

モズは捕えた獲物をその場で食べないで、木の棘や有棘鉄線に突き刺しておく習性があり、秋から初冬にかけて特に多く、カエル、トカゲ、蜂などが干物の状態でよく見られる。ある研究によると、『はやにえは「冬の保存食」としての機能もあるが、春の繁殖期に向けオスのはやにえがメスの獲得で重要な「声（歌）の質（＝歌唱速度）を高める栄養食」としても機能している』との事です。

＜参考＞大阪市立大学～はやにえを食べたモズの雄は、歌が上手になり雌にもてる～（2019）Web

それにしても、元の形を崩さす突き刺してあることから、モズは巧みな技術も有していることが伺えます。

その他

俳句：『草茎を　失ふ百舌鳥の　高音かな』（秋の季語）　与謝蕪村
童謡：『ちいさい秋　みつけた』　サトウハチロウ-
墨画：『枯木鳴鵙図』(重要文化財)　宮本武蔵

子供の頃、少し偉げで口うるさい人（おばさん？）のことを、言葉は悪いが「キィーキィー百舌鳥みてぇ～なひとじゃなぁー」と言っていた様な気がしますが、皆さんの思い出はいかがですか？

参考：Wikipedia

生活習慣予防健診の結果に目をやると “飛べない豚になっていた！” お腹についてる保存食!が気なる私です。
やよいの里　服部 豊

今年は医療・介護・障害福祉サービスの報酬トリプル改定の年です。介護サービスは1.59％のプラス改定となりましたが、事業によってはマイナス改定となっています。人件費・光熱水費・材料費の高騰に対応するには決して十分とは言えず厳しい状況です。

広報誌「木もれ陽」で各施設の取組みを参考にサービスの内容をさらに充実させて地域に発信することで選ばれる施設になれればと考えます。

みなみがた荘　髙中　和明

ライフケア：岡山市北区国体町3番12号　TEL086-252-2222　宇垣荘：岡山市北区御津宇垣2069-10　TEL086-724-0707
憩いの丘：岡山市北区日近1807　TEL086-295-1155　玉松園：岡山市北区御津金川123番地　TEL086-724-0058
備中荘：岡山市北区高松原古才600-5　TEL086-287-3332
福祉施設合同HP　http://www.okasaisei-life.jp/

福祉総合情報広報誌 木もれ陽 No.92
令和6年5月1日発行
岡山済生会ライフケアセンター
岡山市北区国体町3－12
TEL(086)252-2222
FAX(086)252-2281
文責者／総括事務部長　髙中　和明
発行者／福祉部総務室